

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 平和紙業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9929 U R L <https://www.heiwapaper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 和田 学 T E L 03-3206-8501
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,603	△3.0	19	△76.1	101	△32.3	41	△49.1
2025年3月期第3四半期	11,963	0.4	83	△26.3	150	△13.6	81	△20.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 451百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 3百万円 (△99.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	4.39	—
	8.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	18,334	10,161	55.4
	17,971	9,916	55.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 10,161百万円 2025年3月期 9,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	—	6.00	—	6.00	12.00
2026年3月期	—	6.00	—		
2026年3月期（予想）				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	15,700	△2.1	69	△51.6	117	△43.3	51	△56.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：有 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(注) 「四半期会計基準第19項（4－2）（会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合）」に該当するものであります。詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年3月期3Q	10,116,917株	2025年3月期	10,116,917株
2026年3月期3Q	865,895株	2025年3月期	657,395株
2026年3月期3Q	9,423,129株	2025年3月期3Q	9,459,522株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アメリカの通商政策による影響があるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等に支えられ、緩やかな回復基調で推移しております。10月に発足した新政権による経済対策への期待も高まる一方、物価上昇の継続による個人消費の下振れや金融資本市場の変動等の影響について引き続き注視が必要な状況にあります。

紙パルプ業界におきましては、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や物価上昇の継続に伴う需要の冷え込みが続いていること、紙・板紙での国内出荷量（日本製紙連合会発表の速報値による）は、前年同四半期実績を下回りました。

このような中で当社グループは、主力である高付加価値特殊紙の販売強化、成長が期待される高級パッケージ用途や各種技術紙分野、機能紙分野への事業拡大を推進し、展示会、商品説明会、SNS等を活用した継続的な情報発信を強化して、ブランドの認知拡大と新規顧客の獲得に努めております。また、脱炭素・脱プラスチック・SDGs等の社会要請に対応したサステナブル商材の開発や付加価値創出による新規需要の開拓を進めるとともに、強みである特殊紙分野での知見を活かした紙・板紙の枠を超えた特殊素材分野への事業展開を推し進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高116億3百万円（前年同四半期比3.0%減）、経常利益1億1百万円（前年同四半期比32.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41百万円（前年同四半期比49.1%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去前となっております。詳細は、P10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご覧ください。

<和洋紙卸売業>

和洋紙卸売業は、技術紙の販売は堅調に推移しましたが、情報伝達媒体のデジタルシフトによる構造的な需要縮減や物価上昇の継続による個人消費の冷え込みが影響して売上が減少しました。また、アメリカの関税措置による影響等で中国および東南アジア市場における売上が減少しました。この結果、売上高は120億58百万円（前年同四半期比3.0%減）、営業利益は13百万円（前年同四半期比80.0%減）となりました。

<不動産賃貸業>

不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、既存物件における賃貸面積増加により売上が増加しました。大阪事務所ビル（HSK南船場ビル）については収益化に向けた準備段階にあることから、減価償却費及び管理費が先行して発生し、この結果、売上高21百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業利益は6百万円（前年同四半期比57.8%減）となりました。

(参考)

当社単体の和洋紙卸売業の営業成績

品目別	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	2,616	23.5	2,597	23.6	△0.7
ファインボード	1,459	13.1	1,403	12.8	△3.8
高級印刷紙	2,617	23.5	2,605	23.7	△0.5
ベーシックペーパー	2,779	24.9	2,697	24.5	△3.0
技術紙	1,566	14.0	1,587	14.4	1.4
その他	116	1.0	103	1.0	△10.9
合計	11,156	100.0	10,996	100.0	△1.4

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、出版物および紙製品用途が堅調に推移しましたが、海外向けの販売が伸び悩み、売上高は25億97百万円、前年同四半期比0.7%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物（板紙）であるファインボードは、紙製品用途での販売は堅調に推移しましたが、高級パッケージや商業印刷用途が伸び悩み、売上高は14億3百万円、前年同四半期比3.8%の減少となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、出版物および映像・音楽関連用途等が堅調に推移しましたが、販促用印刷物向けの販売が減少し、売上高は26億5百万円、前年同四半期比0.5%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、パッケージ用途が堅調に推移ましたが、紙製品および商業印刷用途の販売が減少し、売上高は26億97百万円、前年同四半期比3.0%の減少となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、耐水撥水性機能紙や工業製品製造用紙の販売が減少しましたが、偽造防止用紙等の販売が堅調に推移し、売上高は15億87百万円、前年同四半期比1.4%の増加となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、ペーパータオル等家庭紙の販売および製紙関連資材等の販売が減少し、売上高は1億3百万円、前年同四半期比10.9%の減少となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億63百万円増加して、183億34百万円となりました。主な要因は、現金及び預金6億71百万円、受取手形及び売掛金3億47百万円が減少したものの、電子記録債権8億18百万円、投資有価証券5億74百万円が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1億18百万円増加して、81億72百万円となりました。主な要因は、短期借入金5億28百万円が減少したものの、支払手形及び買掛金6億50百万円が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億45百万円増加して、101億61百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益41百万円を計上した一方で、剰余金の配当1億13百万円及び自己株式の取得92百万円を実施したことにより株主資本が1億64百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金3億86百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結会計期間の実績及び足元の業況を鑑み、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正し、以下のとおり見込んでおります。

売上高	15,700百万円	(前期比 2.1%減収)
営業利益	69百万円	(同 51.6%減益)
経常利益	117百万円	(同 43.3%減益)
親会社株主に帰属する当期純利益	51百万円	(同 56.4%減益)

詳細につきましては、本日（2026年2月12日）公表いたしました「2026年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提と予測に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,673,804	2,002,199
受取手形及び売掛金	3,400,830	3,053,335
电子記録債権	1,660,765	2,479,491
商品	3,875,225	3,875,684
貯蔵品	49,483	48,455
その他	148,058	101,271
貸倒引当金	△708	△1,245
流动資産合計	11,807,459	11,559,190
固定資産		
有形固定資産	2,745,884	2,713,696
無形固定資産	25,171	45,409
投資その他の資産		
投資有価証券	3,073,949	3,648,304
その他	321,493	369,610
貸倒引当金	△2,926	△1,556
投資その他の資産合計	3,392,517	4,016,358
固定資産合計	6,163,572	6,775,465
資産合計	17,971,031	18,334,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,949,580	4,599,683
電子記録債務	256,362	370,863
短期借入金	2,243,739	1,715,329
未払法人税等	51,989	14,888
賞与引当金	138,057	68,752
その他	502,206	352,715
流動負債合計	7,141,936	7,122,232
固定負債		
退職給付に係る負債	258,026	265,829
資産除去債務	72,890	73,836
繰延税金負債	441,047	625,404
その他	140,571	85,552
固定負債合計	912,537	1,050,622
負債合計	8,054,473	8,172,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	4,631,463	4,559,325
自己株式	△293,972	△386,546
株主資本合計	8,776,722	8,612,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967,306	1,354,203
為替換算調整勘定	172,529	195,586
その他の包括利益累計額合計	1,139,835	1,549,790
純資産合計	9,916,558	10,161,801
負債純資産合計	17,971,031	18,334,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	11,963,241	11,603,162
売上原価	9,541,053	9,203,985
売上総利益	2,422,187	2,399,176
販売費及び一般管理費	2,338,512	2,379,201
営業利益	83,675	19,974
営業外収益		
受取利息	2,259	2,261
受取配当金	79,962	88,795
為替差益	1,908	2,653
その他	5,377	10,492
営業外収益合計	89,506	104,202
営業外費用		
支払利息	19,476	18,526
売上割引	3,177	3,610
その他	—	180
営業外費用合計	22,654	22,317
経常利益	150,528	101,860
特別利益		
固定資産売却益	86	—
ゴルフ会員権売却益	—	3,427
特別利益合計	86	3,427
特別損失		
固定資産除売却損	3,264	—
事務所移転費用	2,721	—
特別損失合計	5,985	—
税金等調整前四半期純利益	144,629	105,288
法人税、住民税及び事業税	31,391	49,721
法人税等調整額	31,934	14,189
法人税等合計	63,326	63,911
四半期純利益	81,303	41,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,303	41,376

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	81,303	41,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,911	386,897
為替換算調整勘定	28,286	23,057
その他他の包括利益合計	△77,625	409,954
四半期包括利益	3,678	451,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,678	451,331

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、建物及び構築物の減価償却方法につきましては、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、名古屋地区における等価交換方式によるオフィス及び賃貸用住宅の取得を契機に当社グループの建物及び構築物の使用状況を検証した結果、今後も長期安定的に使用することが見込まれることから、定額法により耐用年数の期間にわたって均等に費用配分することが、これらの使用実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は69千円増加、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ22,480千円増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	122,497千円	135,441千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,955,766	—	11,955,766	—	11,955,766
その他の収益	—	7,475	7,475	—	7,475
外部顧客への売上高	11,955,766	7,475	11,963,241	—	11,963,241
セグメント間の内部売上高又 は振替高	476,051	11,541	487,593	△487,593	—
計	12,431,818	19,016	12,450,835	△487,593	11,963,241
セグメント利益	67,258	15,881	83,140	534	83,675

(注) 1. セグメント利益の調整額534千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,595,399	—	11,595,399	—	11,595,399
その他の収益	—	7,763	7,763	—	7,763
外部顧客への売上高	11,595,399	7,763	11,603,162	—	11,603,162
セグメント間の内部売上高又 は振替高	463,368	13,311	476,680	△476,680	—
計	12,058,767	21,074	12,079,842	△476,680	11,603,162
セグメント利益	13,454	6,702	20,156	△181	19,974

(注) 1. セグメント利益の調整額△181千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。